

科目名	外国史概論Ⅰ		担当教員	宮野 裕	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED1SWH101
期待される学修成果	教科教育 学校と社会				
アクティブ・ラーニングの要素	プレゼンテーション				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	本講義では、ヨーロッパやアジア世界の拡大・大航海時代・植民地形成・帝国主義の時代を経て、いっそうグローバル化の進展した社会で、他者と共生するための素養を養うべく、世界史に対する姿勢と思考力を身につけ、学界における歴史学の成果やその提供する世界の捉え方・歴史のものの見方に精通することも、求められる。				
授業の概要	世界史の概略を確認すると共に、各時代の主要テーマについて、最新の動向を交えつつ講義する。またこれまでの世界史像が形成されてきた歴史的背景についても講義する。				

授業計画	
第1回	歴史の捉え方と基本的な知識の確認（1）古代地中海世界を中心に
第2回	歴史の捉え方と基本的な知識の確認（2）アジア世界の形成を中心に
第3回	歴史の捉え方と基本的な知識の確認（3）ヨーロッパ世界の形成を中心に
第4回	歴史の捉え方と基本的な知識の確認（4）イスラーム世界の形成を中心に
第5回	諸地域世界の交流
第6回	近世社会 大航海時代・ルネサンス・宗教改革を中心に
第7回	近代社会の成立 市民革命・産業革命を中心に
第8回	戦後史学とは？
第9回	世界の一体化と近代世界システム論 ヨーロッパ・中央アジア世界の拡大と覇権国家の登場
第10回	世界の一体化と近代世界システム論 覇権国家オランダ・イギリスと一体化される世界
第11回	世界の一体化と近代世界システム論 「周辺」としての南北アメリカ大陸の歴史 近代における強制労働力とアフリカ社会
第12回	グローバル時代における地域 国民国家をどう見るか（主権国家の成立・帝国主義と植民地の独立）
第13回	グローバル時代における地域 帝国主義・冷戦後の世界における新しい地域のまとまりへの模索
第14回	「新しい歴史学」の潮流 アナール学派ほか
第15回	まとめ・確認テスト

事前学修	2時間	前時に予告する授業内容について調べてまとめておく
事後学修	2時間	授業内容についてレジュメを作成する（方法については授業内で説明）
フィードバックの方法	レポートを授業時間外に返却。コメントを各自に口頭で伝達。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	30%	要約・批判内容、誤字脱字等全てを評価します。
上記以外の試験・平常点評価	70%	まとめの筆記テストを行います。
定期試験	0%	
補足事項		

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
使用しない	—	—	—	授業時に配付します
参考資料	高等学校世界史B教科書 高等学校各種史料集（図表に富んだものが良い）：売店には世界史資料集を置いておきます。			

科目名	外国史概論Ⅱ		担当教員	岡崎 清宜	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED1SWH402
期待される学修成果	教科教育 自己形成				
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	① 東洋の「社会」や「文化」を学ぶ ② 伝統中国と現代中国との断絶と継承が理解できた ③ 現代中国の分析や評価に多い非歴史的・超歴史的な分析を批判できる歴史的思考を養う				
授業の概要	日本の社会や文化、歴史を考える上で、「一衣帯水」の隣人、中国の影響を排除することはできません。この外国史概論では、いわゆる東洋史を学びます。東洋史とは、日本を作り出した東アジア世界の歴史について、あくまで“日本を理解する”ための学問です。東洋史は中国史や朝鮮史ではありません。東洋の中核、すなわち伝統中国はどんな原理をもっていたのか。まずは、自然と人々との関わりを学びます中国と日本・周辺諸国との相互の影響を考えながら授業をすすめ、東アジア社会を理解するのに必要な枠組を理解していきます。そして、東洋の世界への内在的理解を高めることを通して、日本の社会や文化、歴史を相対化できる能力を養っていきます。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション
第2回	中国とは何か はじめに始皇帝ありき
第3回	環境（1） 黄河流域の世界
第4回	環境（2） 「塞外」の世界
第5回	環境（3） 多民族を包括する帝国
第6回	環境（4） 江湖の世界
第7回	国制（1） 王朝統治と時空
第8回	国制（2） 皇帝専制政治
第9回	国制（3） 科挙：官僚選抜試験
第10回	社会（1） イエ
第11回	社会（2） 結婚
第12回	社会（3） ジェンダー
第13回	社会（4） 宗族
第14回	社会（5） 秘密結社
第15回	まとめ

事前学修	2時間	この授業では、東洋史の基本項目について、各回ごとにテーマにしたがい、話を深めていくかたちで授業をすすめます。毎回、授業ではプリントを配布します。東洋史に関心を深め、現代中国についての書籍・新聞記事などに興味をもってほしい。
事後学修	2時間	講義内容のPDFを配布しますので、読んでおいてください
フィードバックの方法	授業中にリアクションペーパーを配布して回収し、翌週に回答します。質問は大歓迎です	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	80%	理解したうえで使えているかどうか
上記以外の試験・平常点評価	20%	積極的な態度

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
プリント配布	プリント配布	プリント配布	プリント配布	プリント配布
参考資料	教科書ではないが、 寺田隆信『物語中国の歴史』中央公論新社（中公新書）、1997年 富谷至『教科書では読めない中国史』小学館、2006年 関西中国女性史研究会『中国女性史入門』人文書院、2005年 らは、この授業を受ける際、参考文献として紹介しておきたい			